



ふれあい 放水路

1996
(平成8年)
第33号
12月



超大型機械 動き出す

斐伊川放水路事業の開削部B谷（狐廻谷）関連の工事が本格的に始まりました。開削部では山を掘削し、大量の土を動かします。そこで活躍してくれるのが超大型機械です。

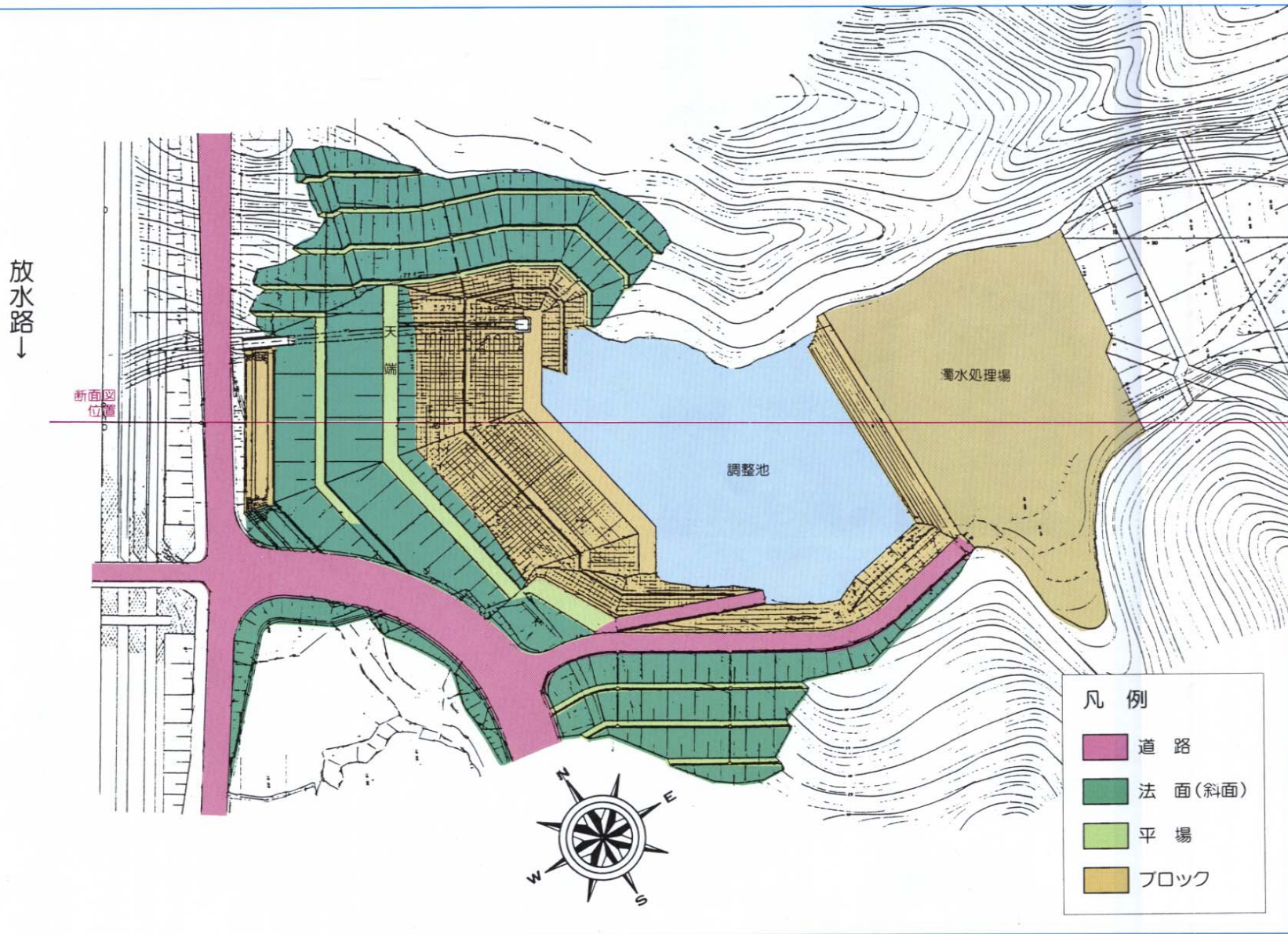
どうでしょう、この勇ましい姿。このバックホウは、全長約十六メートル、重量は約百トンもあります。現在、中国地方ではこの一台しか使われていません。

バケット（穴を掘る部分）は容量が五・三 m^3 あり、街でよく見かけるコントトラックに一回で土を積み込むことができます。写真のように、小型のバックホウがすっぽり入ってしまうほどの大きさで、一かきで幅二メートル、深さ一・六メートルの穴ができます。

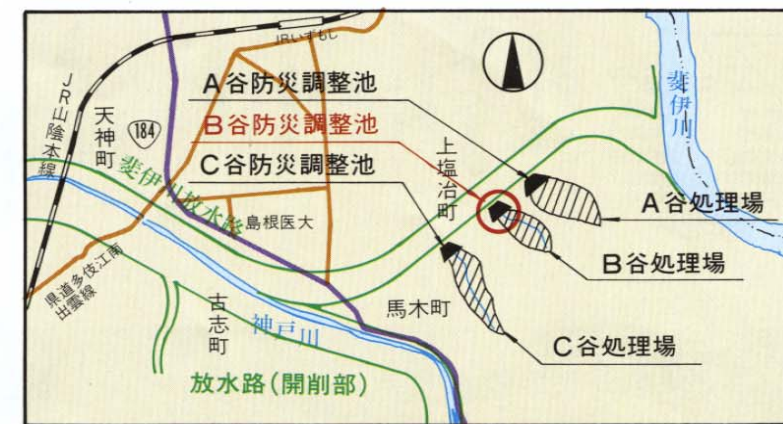
この他、巨大バックホウ六杯分の土を積むことができる四十五トン級のダンプトラック、一度に十一 m^3 の土を押しつぶるブローザーなど、横綱級の超大型機械が大活躍してくれます。

B谷防災調整池工事はじまる 開削部掘削工事準備着々と…

防災調整池の堤防は近くの放水路開削部を掘削した土で作ります。築堤に必要な土の量は約3万m³で、基盤整備（地盤改良など）が完了した後に盛土を開始します。



■位置図



放水路開削部では、現在グリーンステップ事業（GS）の準備工事として、B谷（狐廻谷）の防災調整池の施工に着手しています。防災調整池^{*}は、残土処理場設置に伴い、工事区域に降った雨がB谷を流れる大源氏川上流部から一度に流れ出るのを防ぐために、残土処理に先立ち設置されます。

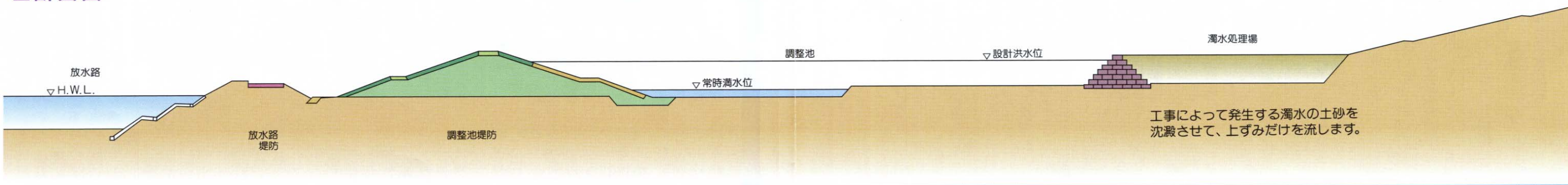
	A谷防災調整池	B谷防災調整池	C谷防災調整池
高さ (m)	6.4	10.0	14.2
堤頂の長さ (m)	91	98	90
貯留容量 (m ³)	17,900	39,900	37,400
流域面積 (ha)	16.7	47.3	53.1

け・ん・せ・つ豆知識

Q. 防災調整池とは何ですか？

A. 河川の上流部で開発が行われると、雨水がそれまでと比べて短時間で大量に流れ出るようになります。防災調整池は雨水が一度に流れ出るのを防ぎ、下流部が氾濫しないように設置されるもので、洪水調節用のダム役割を果たします。

■断面図



工事によって発生する濁水の土砂を沈澱させて、上ずみだけを流します。

ふれあい
放水路
通信

十二月十八日 土木の日

放水路工事現場見学会

十二月十八日の「土木の日」の行事の一環として、出雲工事事務所では、土木について理解を深めて頂くために、志津見ダムと斐伊川放水路工事の現場見学会を開催しました。

十七日には、本紙でも募集しました一般参加者五十名の方々に、また、十八日には松江工業高等専門学校土木科五年生のみなさんに、現在進められている工事の状況を見学して頂きました。

参加した方からは、「今まで放水路のことはあまり知りませんでした、実際に工事現場を見たり、説明を聞いたりして、どのようなものかが分かりました。」「遺跡の発掘調査が、細かい作業でびっくりしました。」などの声が聞かれました。

この見学会を機会に、私たちの生活に密着している「土木」について、また、地元で進められている大事業「斐伊川放水路」について、より関心を持って頂ければ幸いです。



▲大津町来原地区(放水路分流点)の事業説明看板の前で



▲仮設展望台から新内藤川水門工事の様子を見学

宍道湖バードウォッチング参加者募集

水辺環境に恵まれた出雲地方に、今年もたくさんの方の冬鳥たちがやってきました。斐伊川の鳥類を観察し、河川環境についての理解を深めて頂くため、宍道湖バードウォッチングを行います。

- と き／平成9年1月19日(日) 8時40分～14時30分
 - 場 所／宍道湖グリーンパーク(平田市園町)
 - 対 象／宍道湖・斐伊川周辺にお住まいの方(小学生以上) 先着50名まで
 - 参加費／500円(昼食代他)
 - 持参品／双眼鏡など(お持ちの方)・防寒具
 - 申し込み／
 - ・ 出雲工事事務所に集合される方
 - ・ 直接現地に集合される方
- 出雲工事事務所 調査設計課
 ☎(0853)21-1850
 宍道湖グリーンパーク事務所
 ☎(0853)63-0787
 ○締め切り／平成9年1月13日(月)

街へ出かけると正月準備の賑わいで、今年ももう終わりだな、と実感します。今年も一年ご協力ありがとうございました。よいお年をお迎えください。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
 問い合わせ先：ふれあい放水路担当